

産地が至つて少ない。今日までに知られていた分布の東限地は静岡市亀川山である（附近の志太郡瀬戸谷村倉田にもエンシュウハグマなどと共に産する。）伊豆半島にはあつてもよさそうに思われるがまだ採集したということを書かない。筆者は昭和29年10月16日神奈川県足柄上郡三保村の世附国有林（明神峠の北方）内の唯一ヶ所に10本ばかり小群生しているのを発見採集して来た。この地は天然分布の東限地でありまた北限地でもあろうと思われる。そして生じていたところが暖いところではなく、神奈川県の北海道といわれている県下で一番寒い地にあつたことも不思議な事実である。

**ロベレイ博士の逝去** 米国の植物学者 L. H. Bailey 博士は昨年12月25日に96才の高令で逝去された。博士は晩年まで元気に研究をつづけられ、多くの著書論文があり、特に栽培植物に関する代表的著述 The Standard Cyclopedia of Horticulture や Manual of Cultivated Plants は日本でも広く読まれ利用されている。(H. H.)

**口辻永画伯の万花譜の出版** 辻さんが昭和の初め頃に万花図譜正統12巻を出されたことは周知のことであるが、今日それに引きつゞいて、しかしそれとは全く別個に新たに12巻が編輯され、平凡社から世に出る事になつた。2月末に第6巻がでたが、印刷、解説、体裁いづれも二十数年の進歩がうかがえる。辻さんは大姿植物が好きで、折にふれて描かれた野の花、温室の花、園の花が美しく、しかもいかにもその植物の生々した姿で捕えられ、再現されている。第6巻は6月頃に咲く花を主として編輯され、頁一杯の図の対面に解説がつけてあつて、その花の特徴や歴史や逸話を知ることができる。この解説は園芸植物を佐々木尚友、久保田美夫の両氏が、野外植物を前川が引き受け、牧野先生が眼を通しておられる。各巻132図版、美装、箱入、1500円。3月に2冊の割で出る予定。(F. M.)

Errata 正誤 Vol. 30, No. 1 & 2 (1955)

page	line	for	read	page	line	for	read
5	22	glacile	gracile	36	7	inflorescences	inflorescences
35	27	-tsch. Adj. I.	-tch. Adj. I.	"	14	devolopped	developed
"	"	fall	falls	55	27	(1654)	(1954)